東京大学情報基盤センター

利用成果報告書（企業利用）

提出日： 　　年　　月　　日

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申込課題名 |  | | | | | | |
| 企　業　名 |  | | | | | | |
| フリガナ  代表者氏名 |  | | 印 | プロジェクトコード | | |  |
| 部　署　名 |  | | | | | 職名 |  |
| 利用計算機  システム | □Wisteria/BDEC-01 □Oakbridge-CX ※利用した計算機に☑願います。 | | | | | | |
| 申込区分 | 1. 通常利用　　　2. 無償トライアルユース　　　3. 有償トライアルユース | | | | | | |
| 申込ノード数 | ノード | | | 利用期間 | 年　　月　～  　　年　　月 | | |
| 成果公開（※） | 1. 即時公開 | 2. 公開延期（成果公開予定： 　　年　　月） | | | | | |
| 公開延期の理由 | * 上記（成果公開）で「2.公開延期」を選択された場合はその理由をご記入願います。 | | | | | | |

※　本報告書の内容は原則公開され、センター広報・Web ページに公開されます。ただし、利用者の申出により最大で2年間公開を延期することができます

* 本報告書は、利用期間終了後1ヶ月以内に東京大学 情報システム部 情報戦略課 研究支援チームまでご提出ください。
* 本様式の変更はできません。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受付日 | 年　　月　　日 | 受付印 |  |

|  |
| --- |
| **1．利用の概略** |
| 1）利用目的・内容 |
|  |
| 2）利用意義（企業利用の観点から） |
|  |
| 3）スーパーコンピューターを利用する必要性 |
|  |
| **2．成果の概要** |
| 1）本利用で得られた成果（成果が得られなかった場合はその理由） |
| ※ 内容を以下のうちから選択の上、計算機利用の観点から得られた知見を中心に記載してください。  （ １．計算科学、 ２．コンピュータ・サイエンス、 ３．プログラムチューニング、 ４．その他 ） |
| 2）社会・経済への波及効果の見通し |
|  |
| 3）その他の成果 |
|  |

|  |
| --- |
| **利用アンケートにご協力ください（利用アンケートは公開いたしません）。** |
| 1）今後のご利用希望 |
| 1-1) 今後のご利用希望の有無（有・無）  1-2）理由 |
| 2）利用に関して有益であった事項 |
|  |
| 3）利用に関して生じた問題点 |
|  |
| 4）・通常利用を継続する場合の問題点（通常利用の場合）  ・トライアルユースから通常利用に移行する場合の問題点（トライアルユースの場合） |
|  |
| 5）情報基盤センターのユーザーサポートに必要なこと |
|  |
| 6）利用に係る感想・改善を希望すること |
|  |
| 7）本利用で得られた成果や公表予定の成果があれば、以降に記述をお願いします。 |
|  |